

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成31年3月13日

事業所名 秋田県立医療療育センター

保護者等数(児童数) 84名 回収数 46名 割合 54.8%

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	40	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・広く少し騒いでも十分対応できて安心である。 ・活動の場と個人指導のスペースなど十分に確保されていると思う。 ・走り回れるスペースが十分にあり、子供達は満足である。 ・体操などで一列に並ぶ際、人数が多く身動きが取りにくいようなことがある。 ・15人位になると部屋が狭くなる。 ・狭くて喧嘩に発展することがある。 ・人が多い時は母のテンションが下がる。 	貴重なご意見、ありがとうございます。法令を遵守したスペースとなっておりますが、出席人数が多い日は二部屋に分けて活動するようにしています。今後とも、安全面に十分配慮いたします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	40	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても手厚いと思う。 ・専門性、配置数にばらつきがある。 ・先生達も一人一人の事を把握できていると思う。 ・何かあったらすぐ面倒を見てくれる。 ・いいです。 ・臨床心理士の先生がもっと身近に居てくださると有り難い。 ・先生の専門性は素晴らしいと思う。 ・何かあったらすぐ面倒を見てくれる。 ・こちらでは判断しかねるが、各先生の経験の差は感じる。 	貴重なご意見、ありがとうございます。職員配置は法令を遵守した人数となっております。専門性については、職員一人ひとりが研鑽を積むよう努めて参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	43	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・本人もわかりやすいおかげか、どこに何があるかちゃんと意識できている。 ・本人にはまだわからないかもしれない。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	45	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・きちんと掃除や遊ぶ道具も清潔な感じがする。過ごしやすい。 ・いつも清潔で大変ありがたい。 ・広々とした部屋で汗だくで走ったりしていい空間である。 ・ボールプールの中に埃や髪の毛が入っている。 	貴重なご意見、ありがとうございます。ボールプールは定期的に消毒していますが、静電気が発生しやすく、抜けた髪の毛がボールにまとわりつくことがあります。今後は清潔に遊べるよう、更に配慮いたします。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	41	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・とても丁寧に作成してくれている。 ・毎回相談させていただき、丁寧にわかりやすく作ってくれる。 ・月1回ポーテージをしてくれるので、課題が分かりやすい。 	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36	5	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・細かく丁寧に設定されていると思う。 	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	40	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・トイレや給食の時間など協力して見ていただきありがたい。 ・歩いている子がハイハイの子のレベルに合わせないといけないこともある。 	同じクラスに発達に違いがあるお子様がありますが、集団保育の場ですので、ご理解いただけますようお願いいたします。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	36	7	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・いつも色々な楽しい活動で、苦手を克服できる内容である。 ・同じ内容のこともあるが、同じことをやるのも必要なと思う。 ・月に一度しか来ていなかったのので、よく分からない。 ・相談しながらやっている。 	

	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18	7	10	11	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回位あると良い。 ・幼稚園や他の関係者との交流する機会があり、話し合いもある。 ・まだ小さい為、中々そのような機会が無いので嬉しい。 ・他の園にも通っているので、特に必要性を感じない。 ・自分で通う以外はない。 ・4月からは療育1本になる。 ・幼稚園に通っているので、特に必要とは考えていない。 	児童の7割以上が保育所や幼稚園と並行通園しています。保育所や幼稚園との交流は、現在は保護者の皆様の判断で行っていただいております。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧にしていた。 ・されているが、分からない。 	今後はより丁寧な説明を心掛けて行きます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	41	0	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・丁寧に説明していただき、こちらの質問にもきちんと答えてくれる。 	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	17	11	4	14	<ul style="list-style-type: none"> ・特に… ・親への支援が不足している(特に母親への支援)。 ・ペアトレの仕方をもっと教えて欲しい。 ・勉強会など月2~3回あるが、なかなか参加できていない。希望すれば当日のプリントでも受け取れるというと思う。 ・もう少し子どもの障害に関する講演会のような時間が欲しい。 ・毎回相談のついでにいただき、一緒に考えアドバイスいただいている。 	定期的に各専門分野からの保護者勉強会を実施しています。家族支援プログラムとしては、家庭で取り組めるポスターを取り入れて支援を行っています。ペアレントトレーニングについては、今後職員も一緒に学びながら取り入れるよう検討いたします。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	40	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・だいたい。 ・ささいな事を気軽に相談できる状況ではない。 ・どうなんでしょ… ・担任でない先生までもがよく見られている。 ・一緒に考え、アドバイスいただいている良い関係であると思う。 	貴重なご意見、ありがとうございます。今後も、お子様の状況について、保護者の皆様と情報共有できるよう努めてまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	9	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもよく相談のついでに。ありがたい。 ・ありがたいくらい支援してもらっている。 ・定期的ではないが、職員との会話はよく出来ていると思う。 ・特に… ・とてもきめ細やかに対応していただけており、ありがたい。 ・自分がいなかった時間の子供の様子もくわしく教えてくれる。 ・担当小児科医はあまり詳しくないようで、相談する意味が無い。 	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	7	9	19	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に母子分離でないので、保護者同士話す時間は短い。 ・保護者側からの発信によるものに対応してくれる型で、提案としてはあまりない。 ・幼稚園優先であまり参加出来ないが、お母さん同士は話しやすい。 ・親子分離で話す時間はとても勉強になる。ここでしか話せない悩みも聞いてくれて助かる。 ・兄弟参加等、家族で参加する行事が欲しい。 ・とても不足している。センター主催の同窓会等、卒園後にもやって欲しい。 ・父母の会などあるのか不明。ただ、保護者同士のコミュニケーションは取りやすくて良いと思う。 ・保護者同士で連携することがないので、わからない。 	保護者会は数年前になくなってしまふ。クラス状況に応じて母子分離の機会を設け、保護者同士の連携を支援していますが、不十分な点については今後検討いたします。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	33	4	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・とても早く相談のついでにいただき、助かる。アドバイスもきちんといただけて、気持ちが軽くなる。 ・通園部の先生方は本当に親切に迅速に対応してくださっていた。 ・先生達は丁寧に話してくれている。 ・相談をしたが、聞いてもらえない事があった。 	貴重なご意見、ありがとうございます。今後も、保護者の皆様からの相談や申し入れについて、迅速かつ適切な対応を心掛けます
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	3	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに声をかけてもらい、ありがたい。 		

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	8	2	12	<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定など早めにもらえて助かる。 ・いいです。 ・HPを見た事が無い。 ・外部へ何も発信して欲しくない。 	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	42	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・注意していただいていると信じている。 	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	31	4	1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日行っていないので、避難訓練以外の訓練はわからない。 ・マニュアルについては知らない。 ・訓練が実施されているかわからない。 	センター内で各々のマニュアルを策定し、実行しています。保護者の皆様への周知・説明不足な点は、今後改善するよう努めて参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	2	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・いいです。 ・訓練をきちんとやっている。 ・今まで利用した期間内では訓練はなかった。 	法令を遵守し、月に一回防災訓練を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	36	7	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で通所している。 ・いつもいつ行くの？と楽しみに通っている。 ・いいです。 ・とても楽しみにしている。 ・物心つく前から通っているので、慣れてはいます。ただコンディションによっては波があり、いつも楽しいとは限らない。 ・歌と踊り以外の時間が欲しい。 ・波がある。 ・泣く事もあるが、笑顔で活動してくれている。 ・活動内容や本人の機嫌による。 	貴重なご意見、ありがとうございます。今後とも、子どもたちが楽しんで参加できる活動を行うよう努めて参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	36	6	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ここがなければ毎日泣いてばかりだった。今は親子共々笑いながら生きている。 ・相談にもよくのってくれ、一緒に考えてくれるのは、本当にありがたく思っている。 ・親子で精神的に安心できる場所になっている。大満足です。 ・ずっと内容変わらなくて・・・ ・外来の先生にたまにで良いので通園中の様子を見学しに来ていただきたい。 ・内容がずっと変わらない。 ・先生達の先生へのイライラが目に入る事が増えてきて目のやり場に困る。 ・困っているけどそれを言い出せない母親や疲れ果てているけど、センターに通いたい親を助けて欲しい。 ・分離の時間も欲しい。 ・20分のお昼時間では足りない。余裕を持ってない結果、子供に優しく出来ない。 	貴重なご意見、ありがとうございます。今後とも、事業所を利用する皆様に満足していただける支援ができるよう努めて参ります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。